

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-164	小学校	国語科	書写	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	書写 106	新編 あたらしい しょしゃ 一		

1. 編修の基本方針

自分の字を好きになる。その「かぎ」を探しに行こう。

文字を書くことは、易いようで難しい。どこをどうすれば整って、読む人に伝わる文字になるのか。だいたいのポイントを「書写のかぎ」と名付けています。

学びを積み重ねていくことで、子供たちの文字は変わります。読む人のことを思って丁寧に文字を書くために「書写のかぎ」を活用し、自分を伝える術を磨いてほしい。そして豊かに世界とつながってほしい。そう願って、私たちは、この教科書を編修しました。



1

シンプルに、明快に、書くことを学ぶ

— 「そうか!」と思えることをだいにしました。

児童が「何ができるようになるか」を知って、そのために「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が分かる構成としました。個々の学習事項を積み上げ、それを「生活に広げる」ことができるようになる。学習事項のポイントである「書写のかぎ」を従来よりも具体的に明確に示しました。

2

もっと書写の学びがつながる

— 「何のために? いま、何をやっているの?」に答えます。

児童が日常から課題を見つけ、教科書を手段として解決していく様子を導入で示しました。「主体的・対話的で深い学び」につながります。学年の学習事項も一覧しながら、単元の学びがつながる工夫も施しました。見通しを持って学ぶことができます。

3

みんなて、いつでも、書写を

— みんなそれぞれ、どこにいるときも学べます。

児童を誰一人取り残さない。その決意で、左利きの持ち方を右利きと同様に示すほか、特別支援教育の観点、色覚特性等、あらゆる側面をチェックしました。また、すべての基本単元の導入にデジタルコンテンツを用意し、授業を支援するとともに、どこにいても個別最適な学びが実現するようにしました。

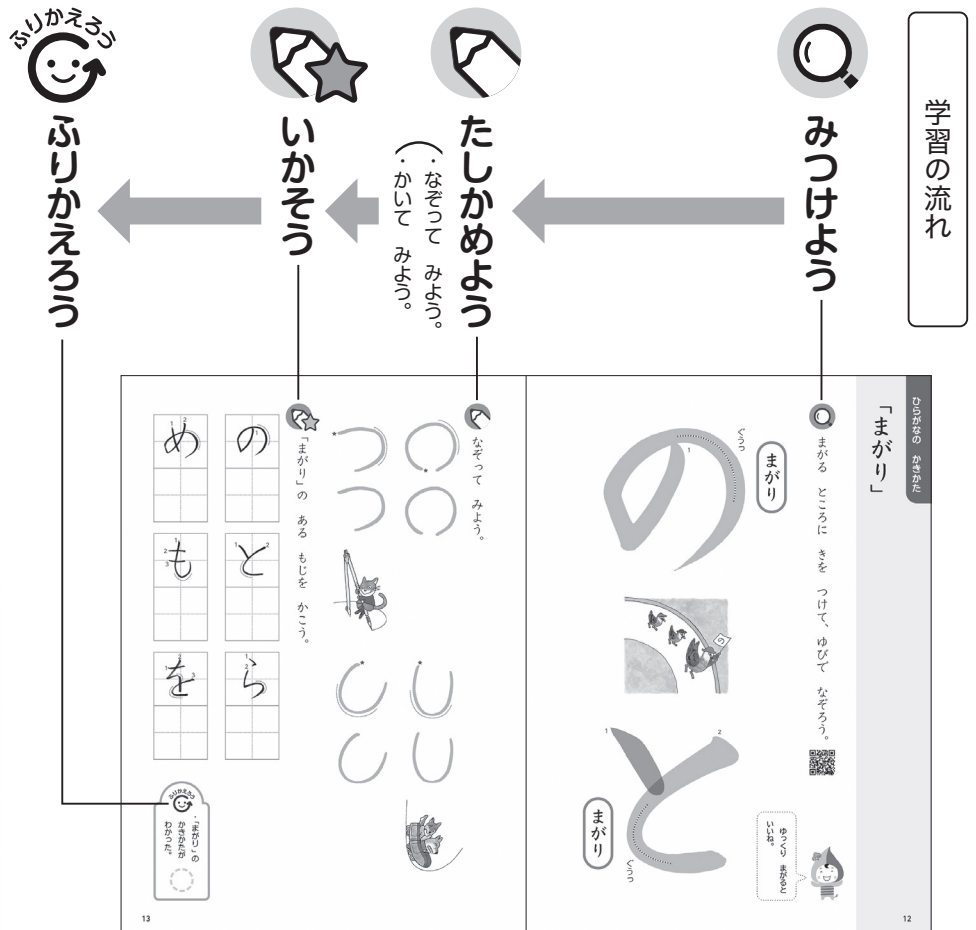
①

シンプルに、明快に、書くことを学ぶ

— 「そうか！」と思えることをだいにしました。

課題を見つけ、確認し、生かして納得する学習過程です。

「みつけよう」で単元の学習事項を発見し、「たしかめよう」で教材文字を書き、「いかそう」で学習事項をほかの文字にも生かして納得し、「ふりかえろう」の自己評価で達成感を得る学習過程です。



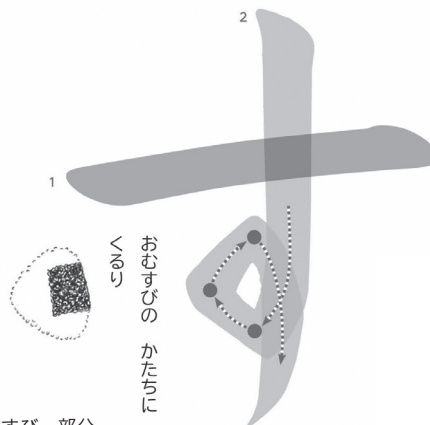
● 児童が自分で
○を付けて、学びを
振り返ります。

「まがり」の
かきかたが
わかった。

p.12-13

学習事項のポイント「書写のかぎ」は、発達段階に応じた示し方にしています。

系統的に整理した小学校の学習事項それぞれのポイントを、「書写のかぎ」として示しています。発達段階を考えて、1年生では、文章によらず、イラストや簡単な言葉でだいなことが感覚的につかめるように工夫しました。



p.16 「むすび」部分

〈細やかな説明〉

p.40では「おれ」は一どにかく」などの注記で、児童のつまずきに対応しています。



p.40 「かくの ながさと ほうこう」部分

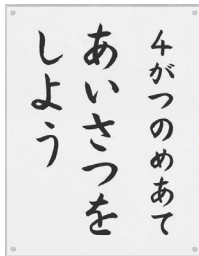
2

もっと書写の学びがつながる

— 「何のために？ いま、何をやっているの？」に答えます。

「書くことへの憧れ」を導くために。

冒頭では、「手書き文字」に興味を持ってもらうために、学校にあるいろいろな「手書き文字」を紹介しています。「自分もこんな文字が書けるようになりたい」という気持ちを持つことが、書写の学びへつながります。



表紙裏 - p.1

学びがつながる工夫を施しました。

巻末の「一年生で 学しゅうする こと」で振り返りをしながら、全体像をつかむことができます。また、学習を広げるために、三種類の単元を設けました。



p.48

「せいかつに ひろげよう」
 学びを他教科や学校生活に生かします。
 ▶ ・にっきを かこう ・なまえを かこう

「文字と いっしょに」
 「文字文化」にさまざまな観点から触れ、児童の学ぶ意欲を高めます。
 ▶ ・かきぞめを しょう ・かん字の はなし

「学びを 生かそう」
 一年間の学習をまとめています。
 ▶ ・一年生の まとめ ・できるように なったよ

〈他教科とのつながり〉

国語につながる学びが3か所にあります。

🔗 リンクマークで示しています。

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所 (頁)
導入	がっこうには どんな もじがあるかな	書写学習によって幅広い知識と教養を身に付けるために、入学時の新鮮な目で身近な書き文字に注目する教材を設定した。(第一号)	表紙裏 -1
はじめに	もじを かく しせい	正しい姿勢を覚える書写体操と標語を冒頭に置き、健やかな身体を養えるよう配慮した。(第一号)	2-3
	かきやすい もちかた	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすために、左右両方の利き手での鉛筆の持ち方を示した。(第二号)	4-5
	えんぴつで かいて みよう		6-7
ひらがなの かきかた	かきはじめと かきおわり	児童が主体的に課題を発見していく活動によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)さまざまな動物(の動き)とともに学ぶことで、生命を尊び、自然を大切にすることを態度を養えるよう配慮した。(第四号)	8-10
	かく しゅんじょ		11
	「まがり」		12-13
	「おれ」		14-15
	「むすび」		16-17
	もじの かたち		18
	にて いるけれど ちがう ひらがな		19
	ひらがなの ひょう	ひらがなを整えて書けるようになることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した。(第三号)	20-21
よこがき①	日常に多く行われている横書きを学ぶことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した。(第三号)	22	
せいかつに ひるげよう	につきを かこう	男女の平等に配慮し、イラストや写真等に偏りがないようにした。(第三号)	23
かたかなの かきかた	「とめ」「はね」「はらい」と 「おれ」「まがり」	児童が主体的に課題を発見していく活動によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)さまざまな動物(の動き)とともに学ぶことで、生命を尊び、自然を大切にすることを態度を養えるよう配慮した。(第四号)	24-25
	かたかなの ひょう	かたかなを整えて書けるようになることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した。(第三号)	26-27
	よこがき②	日常に多く行われている横書きを学ぶことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した。(第三号)	28
せいかつに ひるげよう	なまえを かこう	自分の持ち物に名前を書く行為を擬して、個人の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養えるよう配慮した。(第二号)	29
かん字の かきかた	「とめ」「はね」「はらい」	児童が主体的に課題を発見していく活動によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)さまざまな動物(の動き)とともに学ぶことで、生命を尊び、自然を大切にすることを態度を養えるよう配慮した。(第四号)	30-31
	「おれ」「まがり」「そり」		32-33
文字と いっしょに	かきそめを しょう	書きそめの習慣を学ぶことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した。(第五号)	34-35
かん字の かきかた	文字の かたち	児童が主体的に課題を発見していく活動によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)	36
文字と いっしょに	かん字の はなし	漢字の成り立ちを学ぶことで、幅広い知識と教養を身に付ける態度を養えるよう配慮した。(第一号)イラストを日本の昔話にすることで、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した。(第五号)	37
かん字の かきかた	ひつじゅんの きまり	児童が主体的に課題を発見していく活動によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)	38-39
	かくの ながさと ほうこう		40-41
学びを 生かそう	一年生の まとめ	クイズ形式で知識をまとめる活動によって、真理を求める態度を養い、隣の教材物語と関連した自然のなかの絵によって豊かな情操を培えるよう配慮した。(第一号)	42-43
	できるように なったよ	一年の努力を書き表すことで、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるよう配慮した。(第二号)	44-45
しりょう	一年生で 学しゅうする かん字 (80字)	第一学年で学ぶ漢字とその筆順をまとめ参照できるようにすることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した。(第三号)	46-47
	一年生で 学しゅうする こと	第一学年での学びを振り返り、自ら確認することで、自主及び自律の精神を養えるよう配慮した。(第二号)	48

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- **通学時の持ち運び等の負担に配慮**して、教科書・端末を並べて学習しても無理のないサイズにするとともに、十分な強度を持ちながら軽量な用紙を開発しました。同時に、用紙は鉛筆で書き込みもしやすく、判型を小さくしても**書き込み欄は充実**したままにしました。(第一号)
- **授業支援**を念頭に置き、学習過程を明確かつ丁寧に示すことによる無理のない指導の実現、QRコンテンツの利用による授業の効率化などに取り組みました。(第二号)
- **幼保連携**を意識し、絵本のようにユーモアのあるイラストを各所に取り入れ、書く動きも動物の動きで表現するなど工夫しました。(第一号)

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-164	小学校	国語科	書写	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	書写 106	新編 あたらしい しょしゃ 一		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1

書くことの基礎をつくる


—書くための姿勢や持ち方を身に付けるために—

「しょしゃ たいそう」を大きくし、持ち方もより丁寧に示しました。

従来からの「しょしゃ たいそう」を冒頭に大きく示しました。「あし べた ぴん とん さあ かこう」とリズムカルな標語は記憶に残ります。姿勢を示した QR コンテンツも見ることができ、友達と姿勢を確かめ合えるようになっています。「かきやすい もちかた」も、より丁寧に分かりやすく示しました。

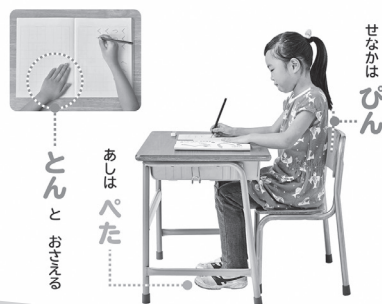
ともだちと
たしかめよう

- せすじが のびて いる。
- あしの うらが ついて いる。
- えんぴつを もたない ほつ の てで かみを おさえて いる。



良い姿勢が順を追って確認できる動画です。

あし べた ぴん とん さあ かこう




せすじは ぴん

あしは べた

とん

しょしゃ たいそう



1 あしは べた

2 あしは べた

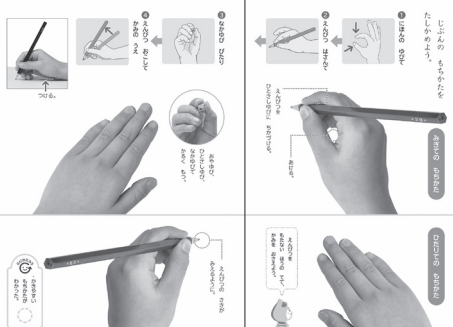
3 とん

4 あしは べた

5 あしは べた

6 とん

かきやすい
もちかた



1 せすじ


2 あし

3 とん

4 せすじ

5 あし

6 とん



1 せすじ

2 あし

3 とん

4 せすじ

5 あし

6 とん



てを あげて ぐう ばあ ぐう ばあ

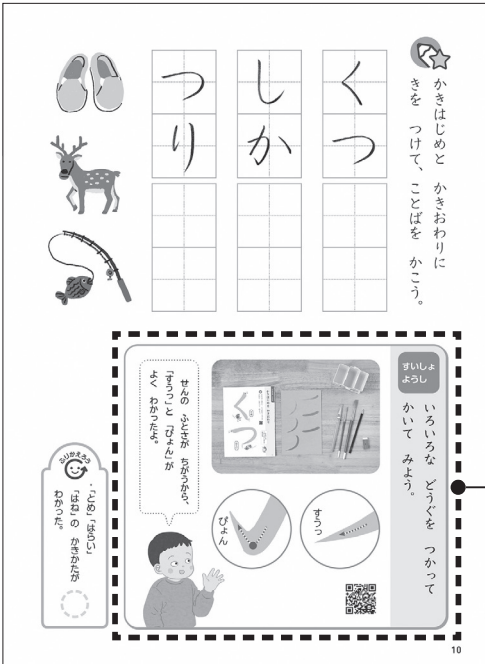
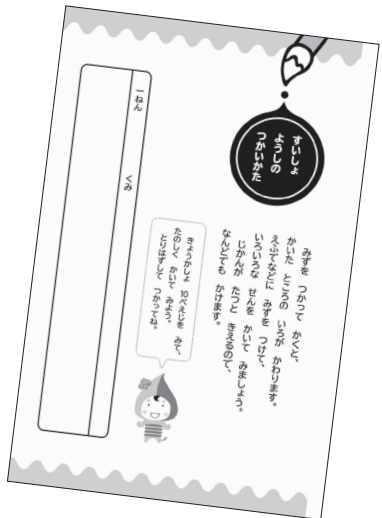
歌つきの動画が見られます。

2 くりかえし手を動かしてみる

—鉛筆を正しく持って書くために

水書用紙を1年と2年に用意しています。

楽しく手を動かすことから始め、力を入れすぎずに鉛筆を持つ、終筆の特徴をつかむ、など、水書利用にはさまざまな効用があります。毛筆が始まるまでの準備としても有効です。

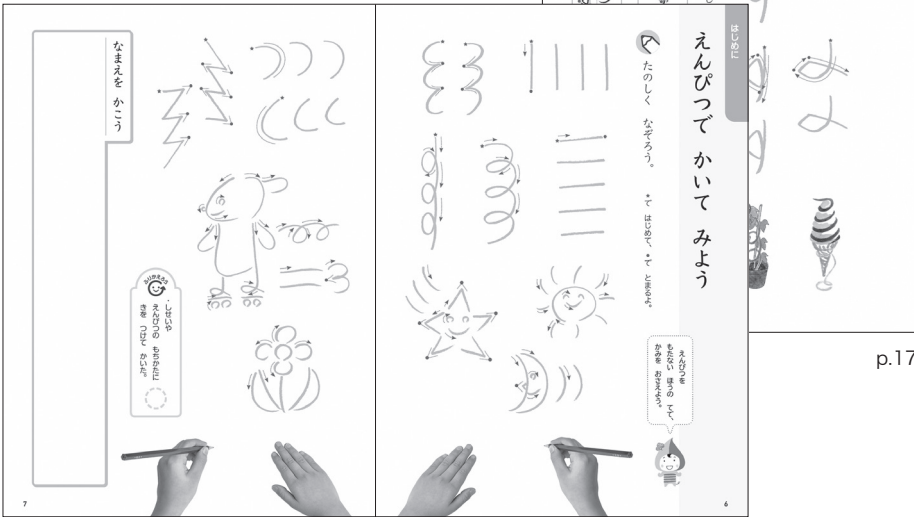


巻末綴じ込み
「すいしょ ようしの つかいかた」



p.10

楽しく鉛筆で手を動かしながら、文字を書くことにつながる練習を用意しました。



p.17

p.6-7

〈なまえを かこう〉

段階を分けて、3か所 (p.7、p.29、p.45) に示しました。成長を確認することができます。

p.29

3

教科書を何度でも開こう

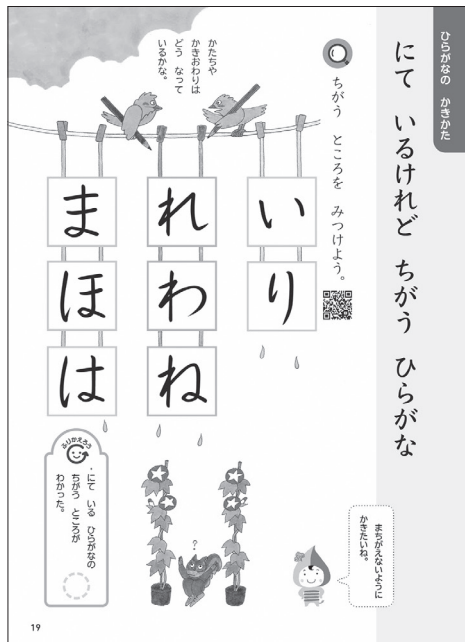
— 授業で終わり、ではなく、また見たくなるように



案内役「コウゾ」

絵本のように楽しい紙面を目指しました。

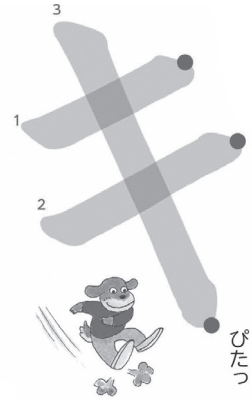
児童が教科書に親しみを持つことができるよう、ユーモアのあるイラストを各所に取り入れました。幼稚園・保育園で絵本を見慣れた児童にとって、紙面が楽しいことは学習意欲につながります。



p.18-19



18



p.24「とめ」部分



p.32「そり」部分

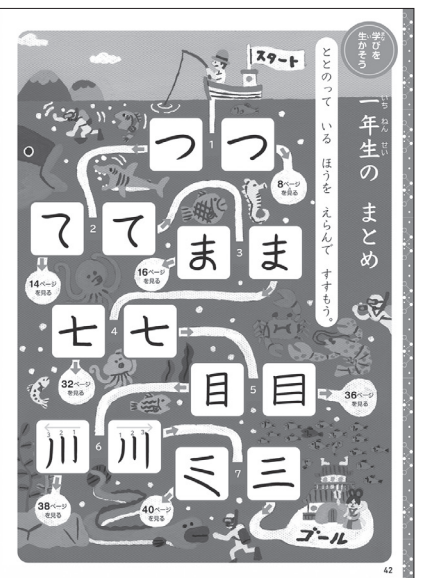
『桃太郎』を題材にした「かん字のはなし」や、国語の教材をモチーフに「一年生のまとめ」を迷路で作成するなど、児童の興味を引く仕掛けを随所に盛り込みました。



p.37



p.42-43



42

教科書の特色

教育基本法への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・書写学習を通して、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、自らの文字を正しく整ったものにしていく課題解決の過程で、自主・自律の精神を養えるよう編修しました。 ・文字文化単元「文字といっしょに」を通して、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。
学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の書写に関する事項をもれなく指導し、ねらいを達成できるよう、単元を組織・配列しています。
単元の系統性	<ul style="list-style-type: none"> ・書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるよう、学年の発達段階に応じて重点化しながら系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できるよう工夫しています。 ・単元名に指導事項を端的に示すことで、学習のねらいを明確化・焦点化しています。 ・書写の学習要素を系統的に分類・整理して、児童自身が系統性を意識した学習ができるよう工夫しています。
2・3学期制や複式指導への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の配列及び時間配当は、3学期制、2学期制のいずれにも対応できるよう配慮しています。 ・複式指導に配慮して、異なる学年でも単元の区切りが同時期になるよう、単元配列を工夫しています。
教材の選定程度・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の指導事項に適した字形を持つ文字であり、かつ、学年段階に応じた語彙を選んでいきます。 ・学年の配当時数に照らして適切な単元数、分量にしています。 ・児童の学びやすさを考慮した簡明な字形・書き方としています。学習指導要領の学年別漢字配当表の字形に拠って、書風は健康的で明るく、濃度や筆圧にも配慮して執筆しています。 ・図解やイラスト、写真などの人物の人数や役割には、性別による極端な偏りがないよう配慮しています。 ・取り上げた児童作例などは、外国人児童などの日本語指導の必要な児童にも配慮しています。
国語科国語や他教科の学習、学校生活との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活に広げよう」などにおいて、絵日記や生活作文など、国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力を育成するようにしています。 ・日常生活の中では横書きが多い現状に考慮し、横書きの単元を設けています。 ・国語や他教科の学習と連動している教材には、関連マークをつけて意識づけを図っています。 ・当該学年の漢字を提出する際は読み仮名や筆順を示し、国語の学習時期による支障がないよう配慮しました。
特別な支援を要する児童への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の専門家の校閲を受け、全ページにわたって検証を行っています。 ・文意を理解しやすいように、文節で改行しています。 ・学習に集中し、紙面の中のだいたいの情報に着目できるように、レイアウトや色使いを工夫しました。 ・点画の書き方の特徴を、動物の動きと擬態語を使って表現し、児童それぞれの理解の仕方に合うよう多感覚へ働きかける工夫をしました。
カラーユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザイン観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。
学習者用デジタル教科書・拡大教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に有効な機能が充実した学習者用デジタル教科書を発行予定です。 ・弱視の児童の学習のために、教科書と同じ内容の拡大教科書を発行します。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・文章は的確・簡潔で、学年段階に応じて分かりやすい表現とし、表記や用語は統一した基準を設けています。 ・使用する漢字は、原則として当該学年以下とし、当該学年の漢字には振り仮名をつけています。
活字	<ul style="list-style-type: none"> ・手書きの硬筆文字の字形や書き方に準拠し、国語・書写の学習に適した教科書体を独自に開発しました。 ・教科書体以外は、振り仮名などに読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。
判型	<ul style="list-style-type: none"> ・書き込み欄は充実したままに、教科書・端末を並べて学習しても無理のないサイズにしました。
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆文字は、印刷の濃度や色味を調整して、より本物に近く、見やすいものになっています。 ・印刷は鮮明で正確です。 ・用紙は、鉛筆で書き込みがしやすく、十分な強度を持ちながら軽量なものを使用しています。通学時の持ち運び等の負担に配慮しています。 ・表紙は、見開きの状態を維持しやすい紙に耐久性を高める加工をし、特に堅牢な針金綴じで製本しています。 ・環境へ配慮し、再生紙や植物油インクを使用し、「グリーンプリンティング認定工場」で印刷・製造を行っています。
GIGA スクール構想への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・基本単元の導入に、QR コンテンツでアニメーションなどを用意しています。 ・情報教育の研究者や実践者に指導を受け、ICTを活用して、学びを効果的に高められるようにしています。
感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書巻末に、感染症の予防について注意喚起を行う「うつらない うつさない ために」を設けています。二次元コードから、基本的な感染症予防についてまとめたサイトを閲覧することができます。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容			該当箇所(頁)	配当 時数	指導 時期	3 学 期制	2 学 期制
	(ア) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。	(イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。	(ウ) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。					
導入	がっこうには どんな もじが あるかな			表紙裏 -1				
はじめに	もじを かく しせい	○		2-3	2	4	10	16
	かきやすい もちかた	○		4-5				
	えんぴつで かいて みよう	○		6-7				
ひらがなの かきかた	かきはじめと かきおわり	○		8-10	2	5		
	かく じゅんじょ	○	○	11	1	5/6		
	「まがり」	○	○	12-13	1	6		
	「おれ」	○	○	14-15	1	6		
	「むすび」	○	○	16-17	1	6		
	もじの かたち	○	○	18	1	7		
	にて いるけれど ちがう ひらがな	○	○	19	1	7		
	ひらがなの ひょう	○	○	20-21	2	9		
よこがき①	○	○	22	1	9			
せいかつに ひるげよう	にっきを かこう	○	○	23	1	9		
かたかなの かきかた	「とめ」「はね」「はらい」と 「おれ」「まがり」	○	○	24-25	2	9/10	16	19
	かたかなの ひょう	○	○	26-27	2	10		
	よこがき②	○	○	28	1	10		
せいかつに ひるげよう	なまえを かこう	○	○	29	1	10		
かん字の かきかた	「とめ」「はね」「はらい」	○	○	30-31	2	11		
	「おれ」「まがり」「そり」	○	○	32-33	2	11		
文字と いっしょに	かきぞめを しょう	○	○	34-35	2	12		
かん字の かきかた	文字の かたち	○	○	○	36	1	1	
文字と いっしょに	かん字の はなし			37	(配当 なし)	適宜		
かん字の かきかた	ひつじゅんの きまり	○	○	38-39	2	1	9	
	かくの ながさと ほうこう	○	○	○	40-41	2		2/3
学びを 生かそう	一年生の まとめ	○	○	○	42-43	2	2/3	
	できるように なったよ	○	○	○	44-45	2	3	
しりょう	一年生で 学しゅうする かん字 (80字)				46-47	(配当 なし)	適宜	
	一年生で 学しゅうする こと				48	(配当 なし)	適宜	
				表紙裏 49	35			